

NEWS LETTER NO.66

JCSDA

Japan Concrete
Sawing & Drilling
Association



一般社団法人 日本コンクリート切断穿孔業協会

〒141-0031 東京都品川区西五反田1丁目4-8 412号

Tel.03-3490-3217 Fax.03-3490-3288 <http://www.jcsda.gr.jp>

理事長挨拶

日頃より、当協会の活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

厳しい暑さが続く8月、皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか。連日の猛暑に加え、台風やゲリラ豪雨など気象の変化も多い時期です。現場ではより一層の安全管理と体調管理が求められますので、どうか無理をなさらず、こまめな水分補給と休憩を意識していただきたいと思います。

さて、当協会は、コンクリートの切断穿孔という専門分野に携わる仲間同士が繋がり、日頃の経験や知識を共有することで、業界全体の技術向上と健全な発展を目指す親睦団体です。日常業務では、各社がそれぞれの地域や現場で責任をもって取り組んでおりますが、だからこそ、同業の仲間との繋がりには貴重であり、情報交換や交流の場を持つ意味は大きいと感じております。

今回のニュースレターも、5月の東京例会での各地区理事の近況報告や地域での取り組み、各委員会の活動報告、メーカー会員による新製品の発表など、様々な情報を掲載しております。こうした情報を通じて、会員同士の距離が縮まり、互いの取り組みや工夫が刺激となって、新たな気づきにつながることを願っております。また、近年では業界全体としても働き方の見直しや若手の人材確保、安全への意識強化など、多くの課題と向き合っております。協会としても、時代の流れに対応しながら、今後さらに意味のある活動を展開できるよう努めてまいります。

これからも皆様にとって協会が役に立つ存在であり続けられるよう、理事会一同力を合わせてまいります。引き続き、変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

一般社団法人 日本コンクリート切断穿孔業協会
理事長 小澤 純

目次

理事長挨拶 小澤理事長	1	ワールドオブコンクリートツアーレポート	13～19
第34回定時総会・第74回東京例会報告	2～9	バウマツアーレポート	20～26
同懇親会報告	10	施工計画の手引き掲載情報/事務局便り	27
例会プレゼンコーナー	11・12	会員名簿	28

JCSDA 第34回総会及び第74回例会

日時：令和7年5月21日（水） 場所：東京 アートホテル日暮里

◆総会及び例会 出席36社59名 司会進行 広報委員長 久保 達博氏（株式会社シブヤ）

総会

1.開会宣言

15時00分 会則18条による総会成立の確認と、開催宣言が行われ、総会スタート。



司会進行 久保理事

2.理事長挨拶 小澤理事長より開会挨拶

みなさんこんにちは。本日はお忙しい中、お集まり下さりましてありがとうございます。また平日より協会の活動に対してのご理解、協会の発展の為に尽力下さりまして、誠にありがとうございます。昨日あたりから、東京もだいぶ暑くなって、とうとう長く暑い夏がやってきたと感じます。いま、こうしている間も現場は動いていると思いますが、そうすると、やはり熱中症の心配が必ず付いて回るものですので、会社幹部の皆様におかれましては、是非とも可能な限りの対策をとって頂き、現場の方々への配慮をお願いしたいと思います。2025年も、もうすぐ6月という事で折り返しを迎えようとしておりますが、政治経済の話になりますと、アメリカ・中国・ロシア周辺の国を中心に、日々状況が変化し、翻弄をされているのかなと思います。同じように我々建設業界を取り巻く環境も日々刻々と変化しています。例えば、人手不足、働き方改革、環境対応、デジタル化等、我々が求められているものは増えてきて、当然私たちは、それに対応し、進化していかなければならない時代となっております。切断穿孔という仕事は社会のインフラ整備には欠く事の出来ない仕事であります。よほどの技術革新がない限りニーズは増えてくると思いますので、そうした中で私たちが先程申し上げた変化に対して、どう対応していくか、また次の世代にどの様に繋げていくかという課題に試されているのかなと思います。

協会としても、会員の皆様が欲している情報や、新しい技術、知識の共有などに今後も力を入れていきますので、ご協力の程お願い致します。皆様の声を吸い上げ、業界全体の底上げにつながる活動を今年一年続けてまいりたいと思います。本日の総会が、そうした思いや、情報の共有できる実りある時間となることを願ひまして、私の挨拶とさせていただきます。本日は宜しくお願い致します。



挨拶 小澤理事長

3. 議案報告 議長 1～5号議案小澤純氏(理事長)

第1号議案 令和6年度事業報告に関する件

第2号議案 令和6年度収支報告に関する件

第3号議案 令和6年度会計監査報告に関する件

※宮崎監事（㈱クライム）欠席のため、代理久保理事（シブヤ）より収支決算監査報告

第4号議案 令和7年度事業計画に関する件

第5号議案 令和7年度収支予算に関する件



監査報告 代理 久保理事

例会

総会に引き続き、第74回例会が執り行われた

1.地区代表会員報告

① 北海道地区代表理事 株式会社エジマ 代理 西澤 良茂 氏

2025年の北海道も例年通り緩やかな出だしとなっています。

公共工事のカッターの工事について5月はそれほどでもなく、6月にはいってからが多くなりそうです。橋梁補修工事は昨年同様多く発注されています。昨年からの継続事業では春からNEXCOのリニューアル関係で、床板取り替え工事、床板防水等が始まりました。やっと北海道も動き出したと実感しています。弊社はあまり絡みがないのですが、他には砂防工事、各空港でのグルーピング工事、灯火改修工事が行われます。旭川空港では11月に入っても施工があるかもしれないので、あまり気温が氷点下まで下がらないことを願っています。北海道新幹線の工事では17本のトンネルの内10本が貫通したみたいです。開業は13年後みたいです、さらに遅れる可能性があるとの事です。新幹線開業に合わせて札幌駅の改修工事も行われており、駅前の再開発や新たに新札幌駅の耐震補強工事やリニューアル工事もあり新幹線がらみの工事がまだまだ続きそうです。高規格道路の工事でも例年通り続いており、道北ではガードレールの支



北海道 代理 西澤氏

柱のコアが数千本発注されています。こちらの道路は今年中に開通予定となっていますので、道北に行かれることがあるなら、ぜひ利用してみてください。もう一つは、今年の3月15日に開通した道央圏連絡道路は、全面開通はまだ先の話になりますが石狩方面から千歳空港や苫小牧へのアクセスが向上し物流の効率化や地域経済の活性化に期待が寄せられています。まだ数年は工事が続くので、カッター工事も出てくると思われます。話は変わりますが、昨今は北海道でも気温が高い日が多くあり、先日も道東の北見市で29.7度を記録しました。来月の6月1日から熱中症対策が義務化される様です。今は時間に余裕を持って現場に行ってもらっているのですが、より一層気をつけて熱中症対策・指導を行って行こうと思います。

② 東北地区代表理事 東北カッター株式会社 高橋 辰佳 氏

昨年度は、全国ニュースでご覧になった方も多いと思いますが、久々に雪の多い冬となりました。5月の連休も終わり、徐々に地場の公共工事も動き始めてきたところです。東北地区の動向としては建設新聞で今年度の発注情報も発表されており、東北地方整備局の事業費総額としては6,555億で工事件数は592件と発表されています。工事内容としては1級河川および遊水地の改修やすでに行われているダム建設、各県の主要道路ならびにバイパスの整備や橋梁補修および架け替えなどとなっています。東北6県の発注情報も発表されており、工事内容として目立つのは各県や市町村で保有している施設や学校などの教育関係の施設、役所の改修・解体・建て替えといった工事が多く、仙台市内でも25の施設で改修設計業務ののちに来年度以降から徐々に着工していくとのこと。こういった施設改修の案件で残念というか寂しく感じてしまうのが統廃合に伴う校舎の改築計画や、空いた校舎の利活用方法を公募するといったのを見ると、地方の人口減少はますます加速しているなど考えてしまいます。以前の例会でも話したことがありますが、仙台駅前から市役所にかけて再開発が進められています。仙台に来たことがある方は分かるかもしれませんが、駅前に青葉通りという銀行などのオフィスビルが立ち並び、ショッピング街、さらに仙台城跡へと続くメインストリートとなっていますが、この通りに読売新聞社のビルがあり、今年度より解体工事が始まり、いずれはオフィス、商業施設、ホテルが入る複合施設となり2029年開業を目指しているところ。秋田県では県立体育館の建て替え整備事業の業者がようやく決まり、ここがプロバスケットボールチームの新たな本拠地になることが決まっていますが、かたや秋田市ではスタジアム建設が移設になるか改修になるかが二転三転し、連日ニュースに取り上げられています。最後にNEXCO関連になりますが、常磐道にいわき小名浜ICが新たに開始され、重要港湾である小名浜港まで結ぶ自動車専用道路が8/7にふくしま復興再生道路として開通されます。その他は、どの地域でも進められている舗装・床版の補修、床版取替、下部工の耐震や補修等々が進められており、いたるところで工事規制が張られています。私自身も明日からまた現場に入りますので、事故等無いように一緒に入る社員さんや協力業者の方々と安全に作業を進めていきたいと思っています。



東北 高橋理事

③ 関東地区代表理事 浜田工業株式会社 濱田 芳郎 氏

JCSDAもメンバーがだいぶ入れ替わり、私等が古い方に数えられるようになりました。地区代表挨拶ということなので、簡単に報告させていただきます。前回もお話した通り、横浜2027花博(GREEN×EXPO 2027 (2027年国際園芸博覧会))は順調に進んでおります。というより花博にしか予算を使っていない感があります。埼玉県八潮市であった陥没事故関連ですが、横浜市では200mm以上の水道管に関しては問題ないというのが現状の発表です。これからはインフラ整備に協力したいと思います。上下水道の点検、整備にも予算を割いている状況ですが、我々に回ってくるまでにはもうしばらくかかりそうです。燃料費の高騰、物価高、若手の人材不足等は全国同じ問題と思いますが、解決出来ずに苦慮しております。これからさらなるコンプライアンスの厳格化等、住みにくいそして働きにくい日本社会に 向かっている様な気がします。良い時代の話ばかりしても仕方ないので、さらなる努力と工夫をして会社及び協会が持続可能な団体になれるように頑張っております。神奈川県横浜市の話をさせて頂くと、2027年にGREEN×EXPO 2027 (2027年国際園芸博覧会)の開催が予定されており、横浜市が力を注いでいます。元々横浜は大きいところの工事がでるとそこにばかりお金が集中する事が多い。とはいっても、一般の小さな仕事は出ております。リーマンショックが起きた2008年の時も横浜市の人口が370万人と多く、法人税と住民税が同額に近くあまり影響を受けなかったと聞いております。昨年度の弊社の話になりますが、大小含め事故が多くあり、その改善の仕方を悩んでいます。住民の知識が深くなり苦情やクレームが多くなりました。ほかの会社の事例ですが、狭い道を通る際に駐車した時、助手席側の席の人が下車時に住民の敷地内に足を一歩踏み入れたのを防犯カメラで撮られていて指名停止になった。また、濁水が厳しくなったので濁水を流している写真をとってその会社に行き、コンサル料を請求してくる人もいっていると聞いております。事故に関しては、起きてしまった場合は速やかに報告することを伝えております。そうはいっても仕事はまだあるので、仕事をとるには人手不足を解消しなければならないけど人手がないというジレンマを抱えています。



関東 濱田理事

④ 東海地区代表理事 東海カッター興業株式会社 後藤 諭 氏

皆さん、こんにちは。本日は、中部地方における2025年度の建設業界の業績見通しについて、お話しさせていただきます。まず、愛知県の建設業の景況感の現状ですが、2025年度は全体的に厳しいスタートとなっています。愛知同友会が行った調査では、建設業の業績判断が大幅に悪化しており、前回より18ポイント低下しました。その背景には、売上・利益の減少、人手不足、資材コストの高騰などが挙げられます。また、帝国データバンクの東海地域の景況調査でも、景気DIが4ヶ月連続で悪化しており、建築や建材関連が特に厳しい状況です。次に、2025年度に進行または計画されている2025年度 愛知県の建設業ビッグプロジェクトについてご紹介いたします。まず注目されるのが、国際的な大会や地域活性化に貢献するアリーナ建設プロジェクトです。愛知国際アリーナ（IGアリーナ）が名古屋市北区に建設中で、収容人数17,000人。2025年7月に開業予定です。2026年のアジア競技大会の主要会場として使用されます。設計は隈研吾氏です。三河安城交流拠点（アリーナ計画）はアイシンとプロバスケットチーム「シーホース三河」が共同で推進中です。2026年竣工を目指しており、地域交流・スポーツの拠点になります。続いては、交通インフラの整備や都市機能の強化に関するプロジェクトです。知立駅周辺の高架化事業として名鉄知立駅の連続立体交差化があります。交通渋滞解消と安全性向上が目的で、2028年の完成を目指して工事が進行中です。また、設楽ダムに関連する道路整備として北設楽郡での道路付替整備が進行中で、地域インフラと災害対策の強化につながります。最後に地域別の物流拠点整備状況をご紹介します。尾張地域（岩倉市・春日井市・豊田市）に中継輸送や広域配送に対応する大型物流施設の整備が進行中です。また東三河地域（豊川市）では製造業や自動車関連産業の集積地として、重量物や大型機材の保管に適した物流倉庫の整備が進められています。名古屋市周辺では都市型物流施設の開発が進み、首都圏や関西圏へのアクセスを活かした中継拠点としての機能が強化されています。以上です。ご静聴ありがとうございました。



東海 後藤理事

⑤ 関西地区代表 株式会社日本コンクリートカッティング 濱田 孝一 氏

おつかれさまです。関西地区理事、日本コンクリートカッティングの濱田です。関西地区報告をさせていただきます。ここ数年の地区報告で話題にした万博が、先月4月13日に開幕されました。少しこの話題に触れます。私は開幕直後の4月20日に行ってきました。本日出席の会員さまの中にも、行かれた方はいると思います。1ヶ月で300万人、人口の2.5%なので、行かれた方はレギュラーかと思います。開幕後の世間の印象は、以前に比べ好印象な報道や情報が多くなったと思います。実際、行った感想としては、お祭り感があって素直に楽しめました。様々な話題になっている大屋根リングは、近くで見ると大きく立派で、上から全体を見たときは広さに感動しました。一部の人気パビリオン、アメリカやイタリアなどを除けば、比較的並ばずまたは短い待ち時間で見学できました。私は丸一日居て大小13のパビリオンを見学出来ました。今回見られなかったパビリオンやショーがあるので、再訪するつもりです。また会社でチケットを購入したこともあり、若い社員は興味を示し、行ってみたいという声も出始めました。少し残念な点は、空想的な未来感が少ないと思いました。55年前の万博は高度成長期に行われたので、未来感があったのだと思います。実際に見ても、絵物語やSF映画でしか見たことない、想像を超えるテクノロジーを感じさせる展示が少なかったです。空飛ぶ車も認証が得られず運用が見送られています。法律や責任の観点から難しかったかもしれません。しかし55年前の万博でなら、運用していたと思います。個人的な感想ですが、仕事と一緒に「チャレンジしてみよう」で行ってみる、それを見て人々をワクワクする、期待させることは、ぜひ行ってほしかった、と思いました。万博開催期間は10月13日まで、残り5カ月あります。もともとインバウンド需要が多い関西は宿泊の予約困難や、交通機関の混雑などの問題はあります。しかし、見学する価値や魅力は十分あると思います。ぜひ機会を作って足を運んでいただきたいと思います。本業の建設業についてです。万博の影響で道路工事など交通に影響が出そうな一部を除き粛々と進められています。ただし、工事は多くないです。中国道リニューアルが一区切りし、大阪駅北ヤード開発も終わりに近づいています。もともと関東に比べ大きい案件やプロジェクトが少ないのが関西です。ただ一部では、万博終了後に本格化するIR建設の計画や施工のため、設計会社や施工業者の不足や取り合いが聞かれます。切通穿孔業についてです。あまり関西に根付いていない当社なので情報は少ないですが、次期的高速リニューアルや新線計画期間でもあり、仕事量は少ないと思います。当社に関しては、現在浄水場内で日当たり約25人50台稼働している穿孔工事があり、会員の皆さまにお手伝いいただいています。しかしこれが終わると先の読めない状況です。今後は、道路においては、新名神の残り区間の建設、新たな路線のリニューアル、4・6車線化工事、鉄道では新線建設や延伸計画などがあります。これらの工事で既設改造や撤去など、我々に関する工事発注を期待しています。次に当社の携わりが強い製鉄業では、鉄鋼メーカーや大手メンテナンス会社の中では、CO2削減に向けた次世代、新技術を使用した設備設置や改修の話は上がっています。ただし実際には、次世代に向けてより、旧設備廃止やトラブルによる単発的な切断工事が殆どです。今後しばらくは、次世代設備に向けたリプレイスのためより、不要になった設備の撤去で切断穿孔の案件がメインかと思われます。これまでに撤去例がなかったり、休廃止し置かれた設備の解体は増える一方です。我々とすれば、それらに対する特殊技術の開発や技能経験を積み上げ、いつでも対応できるようにする必要があります。また今後は国内だけでなく海外でも、国内の特殊解体で得られた技術や技能経験を活かせ、また必要とされるケースが発生すると思います。そのような場でも活躍できるようにと考えています。最後に採用や社内環境についてです。まずは採用に関しては、やっとなのですがSNSの



関西 濱田理事

利用を始めました。写真より動画、文字よりインタビュー、とよりリアルな情報が就活生に届く必要性を改めて感じました。2026年向け採用は、インターンから1名内定者が出ました。現在更に1名採用に向けて活動中です。当社は新卒採用を始めて10年経過しました。この10年で40歳以下の工事部スタッフが半分以上になりました。昨年は若いスタッフ4人が育児休暇を取得しました。公共工事の多くが土日休日にになったことに合わせ、当社も土日休みを基本にしました。自分たちの時代では考えられないような（と思う時点で古い考えなのですが）、常に現状よりよい環境を構築しています。それでも長期出張や人事評価などへの不満は残ります。全てがクリアできる事は難しいです。しかし出来る限り、この会社この業界で働くことに納得でき、この会社この仕事を好きになってもらえるように、努力や改善を続けていきたいと考えています。そうなるための情報や具体例を、ここに集まられた会員の皆様と、情報共有や意見交換をしたい次第です。長くなりましたが、以上で関西地区および当社の近況報告と致します。ありがとうございました。

⑥中国・四国地区代表理事 株式会社コンセック 野田 隆 氏

皆さんお疲れ様です。コンセックの野田と申します。

今回の地区報告では、広島地区はJR広島駅再開発事業が6月をもって完了となります。路面電車が広島駅2へ直接 乗り入れて、同じフロアから新幹線へ乗り換えが可能となり、利便性がかなり良くなります。引き合いは例年通り沢山ありますが昨年からの継続現場が少なく3・4月からの現場が延び延びになり5・6月に集中する様です。中でも橋梁の解体撤去工事や耐震補強工事が続いております。現在 中国地区では中国自動車道の床版取替工事が多く進んでおり、今期もまだまだ案件が出る様です。他に水力発電所の設備改良工事がいくつか動きがあり、ダムの改修工事も併せて発注されるとの事です。広島港栈橋の解体撤去工事も昨年から引き続き動きがあり、今回発注案件の施工内容が重機解体となっている様です。（工法の変更が出ればまたダイヤモンド切断で動く様です。）他では島根原子力発電所での耐震補強工事は今年の5月で一応終了しますが一部の防潮堤（水門）の撤去工事が動きますが新設の工事と同時に進みます。他に既設の沖防波堤の解体（船舶の航路を確保する為）・防波堤上部工や下部工の撤去工事が有る様でコンサルからの問い合わせ（岡山県・愛媛県の現場）が来ており他に水門の改修工事（徳島県）も併せて動きがあります。四国地区では昨年から大型のダム改造工事が進んでいます。ダム堤体への吐き出し孔の新設など難易度の高い施工が求められていると聞いております。その他に製鉄所の改修工事（定期改修工事）が有る為に高温の耐火煉瓦や鋼同等の強度を持つスラブの切断試験施工を繰り返し行っています。それから昨年度より市町村道の拡幅に伴い既設橋梁の架け替え工事で上部工・下部工の解体撤去工事が動いております。この様な案件では乾式工法をPRしておりますが、予算的に厳しい事も有り湿式工法と併せて濁水処理を同時にPRしております。以上を持ちまして中国・四国地区の報告とさせていただきます。御静聴有難うございました。



中国・四国 野田理事

⑦九州・沖縄地区代表理事 株式会社ダイヤモンド機工 代理 平田 健 氏

ダイヤモンド機工株式会社の代表取締役平田健です。今回、初めて九州沖縄地区の報告を私からさせていただきます。よろしくお願いいたします。まずは、水力発電所関係の発電機基礎撤去工事及び水圧鉄管固定台撤去工事。九州各地で今後も、もう少し続くそうです。NESCOは、床板撤去、車線拡幅、トンネル、橋梁、それぞれ動きがあります。民間では、工場関係の改修工事が少しずつ具体化してきています。福岡市の天神地区、博多駅周辺の再開発に伴う都市土木ももう少し続きそうです。当社は先月末で比較的大型の工事が終了して、ゆっくりモードになりますので、資格・免許の取得、オペ技術の向上を意識した人員配置に切り替えていきます。又、当社の4月の新入社員は2名で、近年の中でも少ない方で、今後もこの傾向は続くと考えられ、来期に向けた求人活動を強化していきます。これまで、総務に任せっきりであった高校への求人活動も、今期から私も自ら高校に訪問して進路指導の先生にアピールしています。JCSDAにおいても、直接 仕事の案件の情報共有は勿論ですが、求人活動の情報共有なども今後益々重要になってくるのではないかと思います。それから今後、限られた人材で、限られた勤務時間の中で、これまで以上の成果を求めていくためには、「受注価格アップ」と「一人一人の作業効率を上げる」しかないかと思うので、営業・工事の意識改革が必要だと感じています。又、メーカーさんにも頑張ってもらって、熟練社員でなくても操作可能な商品や作業効率が上がる商品の開発に今後も期待しております。以上、九州沖縄地区の報告となります。ありがとうございました。



九州・沖縄 代理 平田 健氏

2. ダイヤモンドワイヤーソー工法研究会理事長挨拶 稲積 雄司会長（当協会 稲積理事）

当協会と友好団体であるダイヤモンドワイヤーソー工法研究会について稲積会長から解散の報告と挨拶

皆様お疲れ様です。JCSDAの東京例会の貴重なお時間をお借りして、DWS工法研究会が閉会となりましたことをご報告させていただきます。私はDWS工法研究会に初期からの会員ではありませんでしたが、記憶違いでなければ1986年、昭和でいいますと61年の発足と聞いております。40年余りの歴史のある会でございます。発足当時の理念といたしましては、当時では新しい、ワイヤーソー工法の普及、そして工法の技術の発展、工法の特許取得、安全作業、会員相互の懇親・情報交換などを理念に掲げて、40年余り活動してまいりました。しかしながらここ3年間程、そろそろDWS工法研究会が役割を果たしてきたのではないかと、今後この会をどうするかということが問題提起されておりました。会員間での話し合いを重ね本日のご報告となりますが、先月、2025年4月17日の総会をもちましてDWS工法研究会を閉会とさせていただきます。役割を果たしてきたと申し上げましたが、工法普及に関しては、官民の設計書には「ワイヤーソー工法による」と明記されるようになり、機械・工具に関してもメーカーの努力もあり、素晴らしい工具・機械の開発があり、また、工法につきましても研究会で色々情報交換して新しい工法がアップされてきました。近年ではIACDSのダイヤモンドアワードで、JCSDA・DWSの会員企業が毎年賞を頂くような進歩を遂げています。私個人としては毎回優勝でもおかしくないかなと思っております。また、安全につきましても、JCSDAが先頭に立ち各同業団体と協力してワイヤーソー工法の安全指針を策定し、今もJCSDAに改定のお世話になっておりますが、これも官民のマニュアルとして役立っていると聞いております。また、特許につきましては、会員外の特許権者による干渉等がひどくなれば、訴訟に発展する様な事もございましたが、会員皆で研究会にて勉強しそれに対処し安全に仕事ができる処置をしてまいりました。記憶が正しければ平成16年位だと思うのですが、ダイモ社の特許管理会社でハイリーエンタープライズより、コンクリートコーリング大阪の藤尾社長が当時設立されましたダイヤライト社を通じまして、DWS工法研究会会員で資金を出資し基幹特許を買い取り、安心して施工が出来るようになりました。そして、懇親と情報交換に関しても、40年という歴史がありますので、横のつながりも強く今では各地で協力しあって仕事を完成させると聞いております。以上の様に、全てがDWS工法研究会でやってきたことではございませんが、一応の役割を果たしてきたとの総意で、先月幕を閉じさせていただきます。40年の歴史の中で、2018年に長く事務局長を務めていただきました高木様のご高齢という事もありまして引退することになりました。それまでは高木様のご自宅を事務局として使わせていただいておりますので、事務局の移転先に苦慮しておりましたが、JCSDAのご厚意によりJCSDA事務局の一角をお借りし大変お世話になりました。7年間の長期にわたりJCSDAのご理解ご協力、また、事務局を担当している落合様のご苦勞に僭越ではございますが、DWSを代表しこころより感謝申し上げます。JCSDAの皆さん、ありがとうございました。



DWS 稲積会長

3. 委員会報告

① 企画委員会 田中委員長（第一ダイヤモンド工事株式会社）

お疲れ様です。企画から一つお願いがあります。今期、ホームページのリニューアルを予定しております。皆様の方に写真等提供お願いがあると思いますので、その際は、ご協力お願い致します。私事ですが、先月盲腸で10日程入院いたしました。これまでに3回入院したのですが、今回はやけに注射が痛かったので、何でだろう？と思ったら看護師さんが20代前半の若い方しかいない。よく見ていたら本当に若い方しかいない。ある日、看護師さんに「なんでこんなにみんな若いの？」と聞いてみました。4/18に入院したので、「新入社員なの？」と聞いたら「はい」と。虎の門病院にというところに入院したので、まあ東京の方は知っている方は多いと思うのですが、びっくりすることに（新入社員が）150人入ったそうです。調べたら、病床が、820床あるそうです。本当に人がいないのかな？と思いました。という話をしたくて、いるところにはいるのだな、と感じました。皆さんご存じの通りゼネコンさんも初任給30万とか聞きますが、わが社の社長も頑張っけてあげていますが、新入社員もいるところにはいるのかな？と。平田社長も仰っていましたが、入社希望者を探さなければいけないのかな？とそんなことを入院しながら考えました。視点を変えて色々やっけていかないといけないのかな？と思いました。DWSの話もありましたが、新しくなることは新しくし、色々やっけていきたいと思いますので、皆さんよろしくお願い致します。



企画 田中委員長

② 広報委員会 久保委員長（株式会社シブヤ）

広報ではニュースレターの定期発行66号を8月に、67号を来年2月に発行予定としております。66号では今回の総会例会と今年1月に開催されたワールドオブコンクリート研修ツアーの記事、また3年に1度ではございますが、パウマツアーが開催されましたので、参加者皆様のご協力を頂き、記事を掲載いたします。66号は8/1発刊。非常に充実したページ数の多いニュースレターになりそうです。ご期待ください。また、67号ではいつもの通り、例会記事ですね。今回は福岡。こちらの記事を中心に掲載したいと思います。福岡の理事の皆様には大変お世話になりますが、宜しくお願い致します。また、前回もお伝えいたしましたが、継続企画として数年にわたり実施していた座談会企画は去年の名古屋をもって終了致しました。また、広報につきましては今後新たな継続企画を考えたいと思います。掲載記事について、皆様からも様々な情報を頂ければ、参考とさせていただき協会にとって有益な場をご提供出来たらと思っておりますので、宜しくお願い致します。



広報 久保委員長

③ 調査委員会 砂川委員長（第一カッター興業株式会社）

まずは昨年度、フラットソーイング積算改定アンケートを行いました。皆様ご協力誠にありがとうございました。フラットソーイング積算改定に関しましては、皆様のご意見を基に本年度7月の改定の積算資料に反映させて頂く事になります。また併せて、7月に例年通り、施工計画の手引きの改定も行います。最近、私も対応させていただいているのですが、今日の地区報告や、手元資料でも話題になっていた下水道関連のコンサルタント会社さんから協会への問い合わせで立て続けに2件ほど問い合わせを頂いています。ボックスカルパードの補強をしたいということで、「600の人孔から資機材を入れて300以上を切りたい、どうしたらいいでしょうか？」と似たような問い合わせが2件ほど来ています。やはり今後カルパードの補強に関する問い合わせや、もしくは現状色々計画されている案件があるのではないかと思いますので、引き続き協会宛にその様な問い合わせがあれば会員の皆様にも共有出来たらと思っておりますので、宜しくお願い致します。調査委員会からは以上になります。ありがとうございました。



調査 砂川委員長

④ 国際委員会 渋谷委員長（株式会社シブヤ）

報告内容は、ワールドオブコンクリートツアーの報告と、4月にございましたドイツ、パウマのツアー、IACDS会へ参加した報告をさせて頂きます。ワールドオブコンクリートツアーですが、今回1月19日から25日まで全員で18名と多くのメンバーに出席頂きました。この研修ツアーは、1月19日に成田空港を出発し、サンフランシスコ視察後、ラスベガスに移動、3日間ワールドオブコンクリートを視察して、ロサンゼルスに移動、ドジャースタジアム等視察して、25日成田に到着し、解散となりました。来年のツアーは、2026年1月18日から24日迄です。既にスケジュールは出来ております。夏前後に皆様のところに開催案内が行くと思いますので、是非ご検討いただけたらと思います。また、パウマツアーですが、4月8日～4月16日迄のスケジュールにて行ってまいりました。夜の10時に羽田出発の飛行機だったのですが、3時間遅れになりましてすることが無く、皆さんくたびれての出発でした。前回はコロナで大々的に開催できず、我々も参加しておりません。昔のミュンヘン空港を丸々展示会場にしていた、本当に広く、見て回るにも何日もかかります。ツアーを開催するかどうかの判断は理事会で決定します。最後にIASDSの会議と、今後の予定ですが、過去、2月4日・10日、7月1日と10月28日にネット会議が行われます。各国の代表が、報告や問題点の話を行います。



国際 渋谷委員長



パウマツアー報告の様子

⑤ メーカー部会 安井前メーカー部会長（株式会社ノリタケマシンテクノ） 増田メーカー部会長（旭ダイヤモンド工業株式会社）

都合により、本年度よりメーカー部会長を旭ダイヤモンドの増田さんに交代をさせて頂きましたが、中々引き継ぎという事が出来ず、今回のご報告をもって引き継ぎとさせていただきます。まず、会員の皆様におかれましては、日頃私共メーカーに対して、多大なるご支援と、ご理解を賜りまして、代表して厚く御礼を申し上げます。メーカー部会では、1月24日に五反田文化会館にて、部会を開催させていただきました。13社中、12社のご出席を頂きました。この中では、メーカー各社さんの近況報告が行われました。これまでもご報告させていただいている事同様、工事量の減少とあわせて、ダイヤモンド工具、機械部品等、供給元からの価格改定に応じざるをえず、大変厳しい状況が続いているというご意見が多数を占めました。毎回、ダイヤモンド工業会に登録するメーカーの数値をご報告させていただいておりますが、今回は資料に添付されていませんので、ご希望の方は事務局へお問い合わせいただきましたら、データーとしてご提供させていただけるようにしております。2024年度の結果をみますと、10年前2014年に比べますと、全体の出荷数値は約40%減の66%。20年前の2004年と比較しますと、全体の出荷数値は当時に比べ約60%減少の39%となっております。ダイヤモンド工具も機械も性能もほとんど上がってきたことの一因かと思いますが、やはり工事量の減少というのが私共にとって非常に厳しい状況であるのは変わりがございません。特にインフラ整備が、なかなか芳しくないという事も非常に私共を苦しめる状況となっております。インフラ整備と言いますと埼玉県八潮市の下水道陥没の事故以来、各所でも、上下道の破損事故が多発しております。5月上旬に発売されました週刊文春で上水道の更新工事の遅れが取り上げられました。「危ない水道管全国ランキング」あまりいい表題ではないように思いますが、水道事業者の苦しい状況も中に記載がございますので、今回の資料の中にも書き起こしたものを情報として提供させていただきました。また本日の日本経済新聞には産業研究所が持つ地下の電気抵抗を測定する技術これとクボタが持つAIの技術をコラボしました「水道管を掘らずに検査する」、試掘をせずに電気抵抗の技術とAIの推定の技術を併せて水道管の老朽度合いを推定するという事を今後技術提供するという記事が掲載されておりました。試掘が減りますと、カッター工事が減るように思われますけれども、実際はこの費用は試掘に比べると30分の1になるそうです。そういったところで、コストを圧縮して更新の方に費用が回ると工事が増えていくのだろうと期待をしている次第でございます。業界全体は、建築資材の高騰や人手不足、労働時間の規制など厳しい環境が続きますが、私共メーカーも技術の革新に向けて懸命な努力を続けてまいりますつもりでございます。今後とも部会のメーカーに対する、ご支援を賜りますようお願いを致しまして、メーカー部会からのご報告とさせていただきます。



増田メーカー部会長(左)と安井前メーカー部会長(右)

4. 技術情報 プレゼンコーナー

① [コードレススコアドリル DD 110-22/DD 160-22] 日本ヒルティ株式会社 五嶋弘晃氏（関連記事P11掲載）



日本ヒルティ 五嶋氏



総会プレゼンの様子①

② 【フルオート穿孔機能付き自動送り装置 AFS-PJ】 株式会社シブヤ 佐藤英樹氏（関連記事P12掲載）



シブヤ 佐藤氏



総会プレゼンの様子②

5. 事務局報告 落合事務局員

落合事務局員より以下の報告が行われた。

会員移動 施工会員 入会：(株)トータス 退会：瀬戸内カッター工業(株) 休会：1社
事務局への照会（令和6年10月1日～令和7年3月31日）
詳細 事務局便り（28P）参照



事務局報告 落合事務局員

6. 閉会の辞 高橋副理事長（第一カッター興業株式会社）

まずは、定時総会でご審議、例会での1年間の皆さんの活動報告を頂きました。長時間ありがとうございました。東海カッターの後藤さんがチャットGTPの話をしていましたが、僕も最近活用しているからその話をさせて頂こうかなと思います。チャットGTPがかなり業務などの作業の効率化が図れるのだなと、すごく実感しております。就職活動をしている大学生も自分の事を書き込むことで、チャットGTPによってエントリーシートを作成してもらい企業に応募してる様です。チャットGTPの事をチャッピーって呼んでいる若い子が増えているらしいです。生産性向上のところでいくと、この前、橋梁新聞かなにかに日本とドイツの生産性の話が出ておりました。最高速度が日本とドイツだと1.5倍くらいの差があり、それがものを運ぶ効率というところで、ドイツとは大きく差がついてしまっているのだという話だったと思います。それを見て、これからの日本も生産性を高めていくには高速道路の重要性というのが日常的なものを運ぶというところと、災害が起こった際、物資を運ぶ、避難をするそういった仕事を我々は担っているのだなと改めて思った次第です。人手不足のお話も出ましたが、そんな時代だからこそ、この協会の施工会社さんやメーカーの会社さんがお互いに手を取りあい、お互い努力して協力し合ってやっていければなと思いました。



閉会挨拶 高橋副理事長

以上、17時40分プログラムを全て終了し、盛況の中例会は閉幕した。

第34回定時総会、第74回東京例会に引き続き18時より、同宴会場 朱鷺の間にて、懇親会が執り行われた。
小澤純理事長(コンクリートコーリング(株))の開会挨拶、続いて来賓の下村俊夫ダイヤモンド工事業協同組合理事長による挨拶の後、高橋正光副理事(第一カッター興業(株))乾杯の発声で懇親会がスタート。参加の皆様は大いに盛り上がり、和やかに懇親を深められた。盛況の中20時30分、河口幸史理事(株)コムカット)の中締めでお開きとなり、散会となった。



懇親会開会 小澤理事長



来賓DCA下村理事長



乾杯 高橋副理事長



後列左から 岡田 安井 荻原 久保
前列左から 渋谷 土堂 阿部各氏



左から 高柳 佐藤(渉) 平田(健)
下村 小澤 稲積 河口各氏



後列左から 長谷川 高橋(正) 落合(則)
前列左から 若林 齊川 仲山 大木各氏



後列左から 目黒(秀) 古木 草場 砂川 宮崎(雄)
前列左から 加藤 濱田各氏



左から 柳 田中(隆) 田中(芳) 貴島
小野寺 長崎 渡邊各氏



後列左から 山祿 安藤 宇津野 平田(豪)
前列左から 藤尾 高橋(辰) 国司各氏



後列左から 東屋 西澤 谷中 高梨 増田
前列左から 後藤 清水 落合(え)各氏



後列左から 五嶋 原田 佐藤(英) 目黒(雅)
前列左から 畠澤 渡辺 横山各氏



中締め 河口理事

HILTI

高性能ギアとコア除去機能で 現場の効率を一新!

DD 160-22

コードレスでここまでパワフル!



【DD 160-22】



・スタンド式
・Φ52mm~Φ162mmに対応

技術仕様 DD160-22

重量 (ツール本体)	6.8 kg
寸法(長さ、幅、高さ)	444 x 162 x 182mm
ギア数	24
無負荷回転数	465-1363 rpm
電力等級	1.5-2.2kw
直径	最小50mm-最大162mm
振動 (3軸値)	7.6 m/s ²
チャックタイプ	BI+ / Aロッド

HILTI

日本ヒルティ株式会社

☎ 120-66-1159 📠 0120-23-2953

シブヤ 自動送り装置 AFS-P のご案内

株式会社シブヤが切込みから穿孔完了まで全自動で出来る『フルオート機能』を搭載した自動送り装置 AFS-P を発売しました。

仕様	100V 仕様	200V 仕様
電源電圧	100-120V	200V
周波数	50/60Hz	50/60Hz
消費電力	40W	40W
質量	6.5kg	6.8kg
制御範囲	4~30A	4~30A
鉄筋検知適用ビット径	20 ~ 110 mm	

自動送り装置
AFS-P



切込み時も自動で穿孔

切込み時はソフトスタート（低速回転）で自動穿孔します。
はじめての方でも安心して使えます。
作業員 1 人でコアドリル 3 台の稼働も可能。
自動化により生産性が大幅に向上。



穿孔深さが一目でわかる！ 設定した深さで止まる！

パネルに穿孔中の深さが表示されてとても便利。
ストッパーを使わなくても設定した深さで自動停止する機能を搭載。チューブを継ぎ足しても深さ管理ができるので深掘り作業も対応！

独自の鉄筋検知 システム搭載

独自技術により高精度の鉄筋検知を実現。



深掘りに便利な穿孔深さの見える化

全自動で誰でも手軽に穴あけの自動化

すなわち作業性・生産性の効率化

株式会社シブヤ

〒738-0021 広島県廿日市市木材港北 5-86
TEL 0829-34-4500 FAX 0829-34-4501

ワールドオブコンクリート研修ツアーレポート

日程：令和7年1月19日～1月25日

研修先：米国ラスベガス ワールドオブコンクリート



参加者： 谷詰 知隆 片松 剛 (第一カッター興業株式会社)
菊地 秀一 新井 浩二 菅原 悠伍 大坂 尚史 (第一ダイヤモンド工事株式会社)
大澤 孝弥 井花 慎二 (株式会社ウォールカッティング工業)
桂川 晃輔 新垣 雄大 (コンクリートコーリング株式会社)
玉出 真也 (コンクリートコーリング株式会社大坂)
古家 紘彰 (第一建興江島株式会社)
小林 弘典 藤川 卓也 (東海カッター興業株式会社)
河崎 信一 河崎つやみ (株式会社センター機材)
渋谷 憲和 渋谷 彰範 (株式会社シブヤ)

順不同 敬称略

ワールドオブコンクリート研修ツアーレポート

日程：令和7年1月19日～1月25日 研修先：米国ラスベガス ワールドオブコンクリート

初日：移動日（成田空港→サンフランシスコ→ラスベガス）

成田空港に集合し、日本を離陸しサンフランシスコへ向かいました。長時間の機内では食事や映画鑑賞等で過ごし、入国手続きを通過し現地のガイドさんとも合流でき、ひと安心しました。チャイナタウン、ユニオンスクエアと案内頂き、昼食は有名な「ジョンズグリル」のステーキを頂きました。これぞアメリカン！という感じの大きなステーキが目の前に運ばれて、まずは皆さんとビールで乾杯し、とても美味しく頂きましたが、少し顎が疲れました。サンフランシスコの街中は、自動運転のタクシー（ウェイモ）が多く走っており、アメリカならではの最先端技術に驚きました（新井）

出発数日前に某テレビ局で再放映された、プロジェクト〇を見る機会がありました。番組は、明石海峡大橋建設の秘話を題材に工事の難しさや苦労した出来事、そして、人との繋がり的重要性と人間模様を取り上げていました。この工事は非常に困難続きで苦労が尽きなかったようですが、橋を完成させるために参考にしたのが、1937年に完成し世界一の高さを誇ったゴールデンゲートブリッジの技術と言うことでした。実際にこの橋を間近で見ると技術力の高さや、人々の努力を感じとることが出来る歴史的建造物でした。（谷詰）



ワールドオブコンクリート研修ツアーレポート

日程：令和7年1月19日～1月25日 研修先：米国ラスベガス ワールドオブコンクリート

2日目以降：観光（ラスベガス・ロサンゼルス 展示会視察を除く）

市街地の外は砂漠で、急に立派なホテル街が現れるのが現実離れしている。ホテルの外観もそれぞれ特徴的で、中にはジェットコースターが周囲をめぐっているものもあった。（新垣）



チャイニーズシアターでは普段テレビでしか見たことがないレッドカーペットの場所がすごく魅力的でした（井花）



大谷翔平が所属するドジャーススタジアムとハリウッドチャイニーズシアターとその周辺観光を行いました。ロスアンゼルスは日本の漫画アニメグッズがよく店で売られていた印象です。サンフランシスコやラスベガスではあまり見なかったのですが、アクセスや土地柄と大谷バブルで多くなっているそうです。（桂川）

ラスベガスから6時間程でグランドキャニオンに到着。写真でも分かる通り絶景です。コロラド川が何百万年かけて侵食して出来たのがグランドキャニオンで、写真では見えませんが川が流れていました。人間が生まれる遥か昔から作り上げられた景色です。人間感動した時は、言葉が出なくなると言いますが本当にその通りだと思います。（大坂）

ワールドオブコンクリート研修ツアーレポート

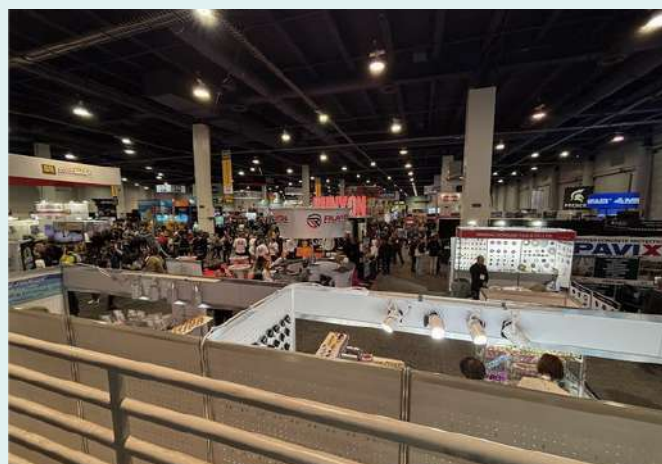
日程：令和7年1月19日～1月25日 研修先：米国ラスベガス ワールドオブコンクリート



ロサンゼルスでは、昼に大谷選手も好きだというハンバーガーをご馳走にそれから、ドジャースタジアムを見学し、お土産を買ったりする事が出来ました。その後ハリウッドチャイニーズシアターを見学し、アカデミー賞のレッドカーペットがひかれる場所を見ることが出来ました。（菊地）

時間帯を気にせず出歩くことができたラスベガスに比べると少し街中が物騒な感じがするが、日中の観光地であればそこまで神経質になることもなく安心して観光することができた。（小林）

3日目：ワールドオブコンクリート



何もかもアメリカンサイズでした。端から端まで見学するとけっこう足に来ます。そしてちょっと迷って同じところに出てきます。野外展示場では実演を交えて展示紹介していました。日頃目にしない工種も見学でき、また改良したらこんなことできそう等のアイデアの基になりそうなのもありました。機能性とは別に、大型重機や大型車両のデザインのカッコ良さも感じました。遠隔操作による効率化は多く見受けられました。（片松）

見たことないメーカーの機械もありカッター機などは汚泥を回収する機能が無く日本の機械のほうがその点では優秀だと感じました。

コアは結構色んなメーカーが出していましたが日本みたいに200Vや230Vの機械は見ませんでした。向こうでは120Vが主流みたいで自送機も見当たりませんでした（藤川）

ワールドオブコンクリート研修ツアーレポート

日程：令和7年1月19日～1月25日 研修先：米国ラスベガス ワールドオブコンクリート

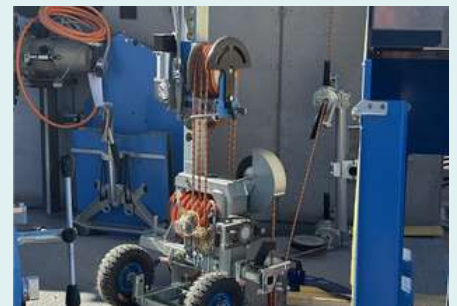
ヒルティのブースでヒルティのツールバランサー装備して研ってる子供を発見！！

写真掲載は許可済みです。

子供の力で壁研り出来てるのは感動しました。自分も装備してみました軽いどころか持つ力は0ですね（古家）



体験コーナーでは一般の方が楽しそうにやっていたので、日本も取り入れていけば建設業の人口も増えるのではないかと思います。仕事も笑いながら仲間として見ているのを見て、自分ももっと仕事を楽しくとおもいます。（大澤）



屋外ブースでは展示品での施工のデモンストレーションを見学することができ、触って試したりすることができるようになっていました。実際、現場で作業するにあたり工具を使用して試すことができるというのはすごくいいと思います。（玉出）



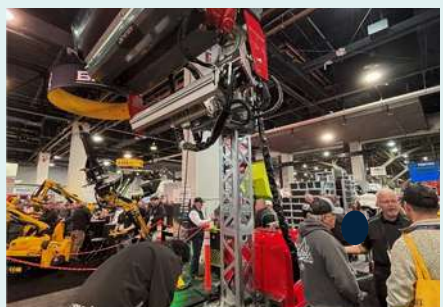
コア、カッター・ワイヤーソー・床研磨マシン他が、数多くラインナップされており、2日では見きれない程でした。又、屋外ブースでは実演パフォーマンスもあり、レーダー探査・研り機・ウォールソー・研磨機等興味深い内容で時間を忘れ見入ってしまいました。（新井）

ワールドオブコンクリート研修ツアーレポート

日程：令和7年1月19日～1月25日 研修先：米国ラスベガス ワールドオブコンクリート



通常見ることが出来ない建設機械が多数在り二日間では見学し切れない広さと多さであったが建設機械も大中小あり大変有意義な二日間でした、SHIBUYAブースがあり日本メーカーも世界に通用しているな
思い、物作り日本でもっと頑張るべきと思った。(河崎)



CONJETとAQUAJETでハツリ機械が展示されており、アームを使つての床版ハツリと、7mほどの高さまでのトンネルや円柱型の柱のようなR面を機械施工できるものを大きく展示していました。コンクリートコーリングでも床版ハツリやXYで機械施工を行なっていますが、アームを使った壁面のハツリも限定的ではありますが将来的に選択肢の一つとしては考えられるのではないかと思います。(桂川)

海外で切断穿孔業務に従事した経験ありませんが、今後そのような機会がありましたらWOC会場に展示されていた各国の先進的な機械の数々を実作業で使用し、データをとりたいというのが実直な感想です。(小林)

国内での、自身が普段行っているウォータージェット工事の環境特性について考えることや、アメリカでの実際のウォータージェット工法の利用状況や施工方法、アメリカ以外の外国でのそれらも知りたいと考えられるように思考の幅を広げることができたと思う。(新垣)

ワールドオブコンクリート研修ツアーレポート

日程：令和7年1月19日～1月25日 研修先：米国ラスベガス ワールドオブコンクリート



研修を終えて

アメリカに来て感じたことは、日本は親切な国だと感じました。

空港、電車など何処へ行っても外国語のアナウンスが流れ、表示も外国語が記載されていて、日本人が優しいと改めて痛感しました。（谷詰）

アメリカへ行った事が無い人は一度は行ってみると考え方など色々変わるかもしれませんね。若い人などに是非行ってみて欲しいです。（藤川）

この研修で得た事を、仕事やこれからの切断穿孔業界が盛り上がっていきけるように活かしていきたいと思います。（大坂）

初めてのアメリカでしたが、人生でも行けることはないと思っていたのでとても嬉しく思います、今後自分がアメリカで見たこと感じたことを日本で生かしていきたいです（大澤）

未熟者の私を今回WOCツアーに参加させていただき、本当にありがとうございました。この経験を活かし、今後の仕事により一層励んでいきたいと思います。（桂川）

若手社員にも体験させ会社の今後に繋がたい、研修会ではもっと懇親会等を開いて今後の会社の方針等を勉強して研修会を実りの有るものにしていけたらと思う。（河崎）

今後の仕事に生かせる有意義な研修にさせていただきました（古家）

国の特色、文化を感じることができたような気がします。自分にはない感性や、考え方に触れることができて本当に貴重な体験ができたと思います。（玉出）

＊寄稿者の皆様、この度はお忙しい中での執筆ありがとうございました。広報委員会

バウマ研修ツアーレポート

日程：令和7年4月7日(月)～13日(日)

研修先：ドイツ・ミュンヘン



【開催期間】

2025年4月7日(月)～13日(日)

【開催場所】

ドイツ・ミュンヘン

【敷地面積】

屋内200,000㎡、屋外414,000㎡

【出展企業数】

57カ国から3,500社以上が出展

【出展分野】

建設機械・機器、建設車輛、リフト、コンベヤー、工具、特別システム、コンクリート・モルタル処理・製造、型枠、足場、鉋業機械、原料抽出機械、原料処理、選鉱、各種製造プラント・システム・機械（アスファルト、コンクリート・コンクリート製品・プレハブ構成材、石灰砂岩・発電所残渣使用建材、石灰、石膏・石膏ボード、セメント、予混合ドライモルタル・漆喰・スクリードなど）、建材運搬・梱包、トランスミッション・流体技術、発電ユニット、付属品、摩耗部品、サービス、検査、測定、プロセス制御技術、通信、ナビゲーション、作業安全 など

【企画、参加情報】

企画主催会社：JCSDA（日本コンクリート切断穿孔業協会）

催行日程期間：2025年4月8日(火)～16日(水) 実質7日間

参加者：吉田 啓助、眞野 敬英、河野 允告、鈴木 大介、青山 勝彦(第一カッター興業株式会社)
：平田 健、神田 俊介、田淵 雄己(ダイヤモンド機工株式会社)
：箕浦 光(コンクリートコーリング株式会社大坂)

順不同 敬称略

時差：－7時間（日本PM12:00 現地AM5:00）

気候：朝晩は冷え込むが日中は暖かい陽気（朝晩はライトダウン、日中は半袖）

移動時間：羽田ーミュンヘン 約14時間

【フラットソー】

今回のバウマの主なテーマの一つとして「代替ドライブのコンセプト」が挙げられていました。重機の展示に関してはエンジン駆動、有線式の電気駆動、エンジンと発電機にコンバータを介して電動駆動にするハイブリッド式、さらには100%バッテリー駆動のマシンや重機などが多数展示されていました。なかでもオランダの切断業者のブースでプロトタイプではありましたが100%バッテリー駆動のカッターマシンもデモンストレーションを行っていました。搭載されているバッテリーは今回バウマの会場に出展されている中でも最小だとのことでした。プロトタイプでカタログはありませんでしたが日本にはない技術が開発されていました。480馬力、2枚のブレードを搭載して1日でアスファルト100mmを5000mも切断できるそうです。しかし恐らく馬力が有りすぎてちぎれたブレードが展示されていました。同ブースにはトラック架装式のカッターも展示されており切断ラインを自動で認識して切断していくそうです。同じ切断業者として凄いなとは思いましたが、排水の吸引機能もなく日本の交通事情や、排水に関する対応・考え方は日本には合わないと感じました。(第一カッター興業 連名)



小型カッターの展示もありましたが日本と余り変わりませんでした。海外からすると日本の様にコンパクトで深く切断でき吸引もする機械ではなく、オペレーターが搭乗して重機のような操作をするのが海外は主流だなと感じました。(第一カッター興業 連名)



【コアドリル】

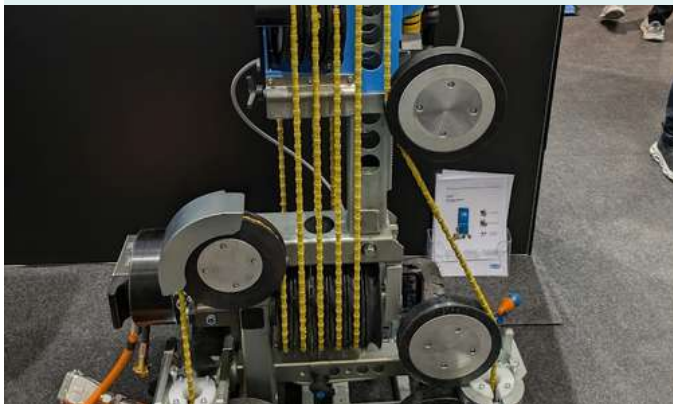
コアドリルに関してはベースに注目しました。日本とはキャリッジの考え方が異なるようでベースに通すタイプではなく挟み込むタイプが多い感じました。その分、ひかえが取れるのでベースのしなりが少なくできるのかと思います。控えの長さを調整して角度の変更もできるようになっているものもありました。ハンドコアの展示も意外と多く海外では主力機械なのかと思いました。体格差、コンクリートの規格などの違いもあり主力機械も異なってくるのだと思いました。ハンドコア(乾式)のブースで鉄筋も切れると仰っており、触れることで感覚的なところも学ぶことが出来ました。(第一カッター興業 連名)



【ワイヤーソー】

ワイヤーソーについては普段日本で使っている平面的な巻き取りよりもSKSDのような本体巻き取り式が主流でした。本体巻き取りから任意の方向へワイヤー位置を変換して切断する仕様でした。

キャタピラ自走式のワイヤーソーもあり、電動式でサイズも日本のカッターマシンよりもコンパクトサイズで搬入も容易にでき、身体への負担も考慮していると思いました。自重の軽さ、トルクなども気になるころでしたが確認出来ませんでした。デモンストレーションは行っていなかったため施工は見る事が出来ませんでした。(第一カッター興業 連名)



【エネルギー】

「持続可能な建設」についてもテーマの一つとなっており機械の巡回エネルギーを蓄電するハイブリッド仕様の大型掘削重機も展示され、いかに燃料消費を抑えるのかが今後のキーポイントになってくると実感しました。

エンジンで発電機を動かしてモーターにより駆動させる機械もあり驚きました。電気自動車の大型トラックも出展されていました。充電スポットも多く設置される予定で2030年には4万カ所の設置を目標にしているそうです。日本メーカーも同じく100%電気トラックを出展していたり、発電機と大型バッテリーを組み合わせて使用し燃料消費を抑える大型蓄電池の設備なども目立ちました。(第一カッター興業 連名)



バウマ研修ツアーレポート

日程：令和7年4月7日(月)～13日(日) 研修先：ドイツ・ミュンヘン

IACDS（国際コンクリート削孔・切断協会）が主催する、ダイヤモンドアワードのJOB(施工事例)部門に弊社もエントリーしておりましたが、残念ながら受賞には至りませんでした。日本の技術力を世界に見せつけれるまたとない機会ですので、今後もより一層の研鑽を重ね、次回は受賞を目指してまいります。（コンクリートコーリング 箕浦）



【総括】

世界の重機・機械を間近に見て日本の機械の緻密さを一番に感じました。基本的にフラットソー・ワイヤーソー・コアドリルを重点的に見ましたが排水基本は垂れ流し、騒音も気にしないでパワーが『全て』という印象を受けました。実際に機械、設備などに触れられるブースも多く、カッターマシンやコアマシンも実際に触れられました。また日本では体験できない見せ方パフォーマンスが非常に工夫されていると思いました。子供から大人まで興味を引くような展示会でした。

またダイヤモンドアワードを受賞することはできませんでしたが、展示会を含めとても勉強になりました。ダイヤモンドアワードを受賞するためには、【見せ方】が非常に重要だと感じました。また機会があればダイヤモンドアワードに応募したいと思います。（第一カッター興業 連名）

展示会では、欧州を中心とした最先端の建設技術や機器に直接触れ、最新のコンクリート切断機器、自動化施工技術、環境に配慮した電動機械など、国内ではまだ普及していない技術を多数見ることができました。海外メーカーの現場志向の工夫や発想は非常に参考になり、日頃の業務の中では得がたい貴重な刺激を受けました。今後は、本研修で得た知見を社内にも共有し、より安全で効率的な施工方法の検討や開発業務に活かしていきたいと考えております。

バウマ研修ツアーレポート

日程：令和7年4月7日(月)～13日(日) 研修先：ドイツ・ミュンヘン

海外の現場レベルで求められる品質や効率性を肌で感じられたことは、今後の自身の成長にとって大きな財産となりました。今回の研修を今後の業務に積極的に反映させ、会社全体の技術力向上にも貢献していきたいと思います。今回の研修にあたり、貴重な機会をいただきました日本コンクリート切断穿孔業協会の皆様、事務局の皆様にご心より感謝申し上げます。

また、現地でさまざまな情報や気づきを共有してくださった参加者の皆様にも、改めてお礼申し上げます。皆様のおかげで、大変有意義で充実した研修となりました。

本当にありがとうございました。

(コンクリートコーリング 箕浦)

今回の研修では、普段見る事の出来ないワイヤーソー、コアドリル、ウォールソー、ウォータージェットの海外のメーカーの商品を見る事が出来ました。安全対策の考え方1つにしても日本よりも厳しく、マシンの周りにカバーが付いてないと、いけないらしく安全に対する意識の高さを感じました。7年程前に使用した事のあるメーカーのマシンも、だいぶ様変わりしてコンパクトになっていました。特に興味をそそったのは元々はドイツで設立し今はオーストリアに移転したメーカーのBRAUNのワイヤーソーマシンが、現場で実際、使用し切断能力が、どれ位なのか実際、使ってみたいです。

そして、何んと言ってもバウマの会場の広さ、展示物、デモンストレーションのスケールの大きさに本当に感動しました。特に屋外の展示物の迫力は、実際に見ないと、この凄さが伝わらないのが残念です。会場のブースで声を御かけてくれた日本人の方が「アメリカのConexpo、フランスのIntermatも行きましたが、バウマに来ている人達の表情がとても明るくて会場の雰囲気が一番いい。」って言葉が、とても印象的でした。この様な貴重な研修に参加させて頂き、本当にありがとうございました。

(ダイヤモンド機工 田淵)



バウマ研修ツアーレポート

日程：令和7年4月7日(月)～13日(日) 研修先：ドイツ・ミュンヘン

今回初めてのBAUMAツアーに参加した。初めての海外旅行でもあった。BAUMAにも出展し、先に現地入りしていたコンセックの方に現地の状況や天候などの情報を聞いて、無駄なく準備ができた。同業界の中で、特にヒルティのブースについては、屋内外にわたり大規模に展開され、展示品の紹介やデモンストレーションなどが活発に行われていて、人も集まっており高い評価が得られていたようだ。

大型重機の殆どが電動化により、電気制御での遠隔化や自動化の開発が進められていた。日頃使用している機械や作業についても自動化や無人化、省力化が必要だと感じた。100mを超える高所作業車があり驚いた。試乗を試みたが購入の意思がないと乗れない事が並んで1時間後に発覚し無駄な時間を過ごただけで断念した。煙突や風車、橋梁などの構造物解体で切断・穿孔・玉掛までを大規模な足場を組まずに足場同様の工事が行えないか？ 使用することでコスト削減や工程短縮などができないかなど想像を膨らませていた。同業界以外の工法や機械を見ることで、驚きと同時に色々考えるものがあった。

ミュンヘン近郊の観光では、日本では見られない様式の建造物、街並みや佇まいで、目を見張るものばかりで感動した。文化の違いは一長一短。語学力、せめて聞き取り力があればもっと楽しめたのではないかと後悔している。ビールも食事も日本が良い。改めて日本人に生まれて良かったと思う。澁谷会長やBAUMA経験者の牽引でトラブルやロスもなく、貴重な経験をし、有意義な時間を過ごすことができました。(ダイヤモンド機工 神田)



*寄稿者の皆様、この度はお忙しい中での執筆ありがとうございました。広報委員会

【施工計画の手引】掲載のお知らせ

フラットソーイング工法	(第26版)
コアドリリング工法	(第26版)
ウォールソーイング工法	(第26版)
ワイヤーソーイング工法	(第18版)
乾式コアドリリング工法	(第11版)
乾式ウォールソーイング工法	(第11版)
乾式ワイヤーソーイング工法	(第11版)

令和7年7月1日に内容を更新改訂致しました。

当協会ホームページに掲載しておりますので、皆様、是非ご活用下さい。

内容に関するご質問お問い合わせ等は、協会事務局にご連絡下さい。

調査委員会 委員長 砂川 高寛

JCSDA 事務局便り

◆会員移動

1)施工会員 : 34社 入会: (株)トータス 退会: 瀬戸内カッター工業(株) 休会: 1社

2)メーカー会員: 13社 入会: なし 退会: なし

3)友の会会員: 42社 入会: なし 退会: なし

◆会員募集: 詳しくは事務局までご連絡下さい。入会申込書をお送りします。

	正会員			友の会会員
	施工会員年商2億円以上	施工会員年商2億円未満	メーカー会員	
入会金	10万円	10万円	10万円	なし
年会費	20万円	15万円	20万円	2万円

◆会員情報

代表者変更 (株)エジマ 代表取締役 畠澤一生

ノリタケマシンテクノ(株) 代表取締役 加藤大助

ピースダイヤモンド工業(株) 代表取締役 目黒秀幸

千葉丸辰道路(株) 代表取締役 田邊有貴子

住所変更 井上工業(株) 〒990-248 山形県山形市久保田2-1-47

(有)榮商店 〒904-214 沖縄県沖縄市知花4-3-21

✓ホームページが新しくなりました



*お願い

会員各社様の各種情報(代表者・所在地・TEL/FAX番号等)変更の場合には、その都度必ず当事務局宛ご一報を下さいます様、お願い致します。

◆例会開催予定

第75回例会 K K Rホテル博多(福岡)にて令和7年10月15日(水)開催予定。

詳細は事務局よりご案内させていただきます。

◆事務局より

協会ホームページを新しくしました。(令和7年7月1日より)

スマホでも簡単



会社名	所在地	電話番号	FAX番号
(株)エジマ	〒078-2600 北海道雨竜郡雨竜町字満寿36-9	0125-79-2011	0125-79-2012
(有)栄進カッター工業	〒003-0869 北海道札幌市白石区川下2065-2	011-873-6908	011-873-6909
第一建興江島(株)	〒065-0023 北海道札幌市東区北23条18-2-3 2F	011-751-0410	011-771-6361
東北カッター(株)	〒038-0021 青森県青森市大字安田字若松60	017-766-9230	017-766-9244
井上工業(株)	〒990-2482 山形県山形市久保田2-1-47	023-645-8877	023-645-8395
(株)ベストムサービス	〒342-0036 埼玉県吉川市高富大場川1059	048-983-8560	048-983-8570
コンクリートコーリング(株)	〒177-0054 東京都練馬区立野町16-12	03-3928-3023	03-3929-8997
第一ダイヤモンド工事(株)	〒157-0067 東京都世田谷区喜多見3-14-27	03-3417-1911	03-3417-3777
(株)ダイイチ	〒157-0067 東京都世田谷区喜多見5-1-7	03-3416-0411	03-3416-0412
(株)シンワダイヤ	〒116-0001 東京都荒川区東日暮里1-27-10	03-5850-6200	03-5850-6201
小笠原興業(株)	〒177-0044 東京都練馬区上石神井1-41-2	03-3928-1514	03-3928-1508
(株)丸辰道路工業	〒224-0043 神奈川県横浜市都筑区折本町338	045-476-4012	045-476-4013
第一カッター興業(株)	〒253-0071 神奈川県茅ヶ崎市萩園833番地	0467-85-3939	0467-88-0567
中央総業(株)	〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野3-20-1-4F	042-765-5500	042-765-2822
浜田工業(株)	〒226-0026 神奈川県横浜市緑区長津田町4805	045-921-6500	045-921-2420
(株)D-1	〒940-1104 新潟県長岡市摂田屋町2701-13	0258-89-7685	0258-89-7686
(株)トータス	〒399-0701 長野県塩尻市広丘吉田276-17	0263-97-3121	0263-97-3122
江島産業(株)	〒457-0003 愛知県名古屋市中区鶴田1-5-13	052-821-9305	052-821-9339
東海カッター興業(株)	〒462-0017 愛知県名古屋市中区落合町135	052-901-4811	052-901-4812
コンクリートコーリング(株) 大阪	〒534-0001 大阪府大阪市都島区毛馬町5-15-28	06-6924-4517	06-6928-1263
(株)ティー・ビー・シー・ダイヤモンド	〒587-0011 大阪府堺市美原区丹上321-2	072-363-4145	072-363-4146
(株)日本コンクリートカッティング	〒578-0921 大阪府東大阪市水走5-5-50	072-960-5910	072-960-5911
(株)丸辰道路工業	〒581-0054 大阪府八尾市南亀井町2-4-51	072-923-7579	072-923-2499
北辰工業(株)	〒570-0032 大阪府守口市菊水通4-12-15	06-6997-2426	06-6997-2429
(株)佐藤工業	〒653-0805 兵庫県神戸市長田区片山町5-11-24	078-612-0413	078-621-0421
(株)中国カッター鳥取	〒680-0905 鳥取県鳥取市賀露町129-2	0857-28-9808	0857-28-9815
(株)コンセック	〒733-0833 広島県広島市西区商工センター4-6-8	0822-77-5452	0822-78-6389
九州ダイヤモンド工事(株)	〒814-0174 福岡県福岡市早良区田隈2-23-6	092-864-7600	092-864-7638
(株)コムカット	〒811-1314 福岡県福岡市南区的場2-21-2	092-571-1971	092-585-5647
(株)センター機材	〒812-0894 福岡県福岡市博多区諸岡5-1-8	092-591-2828	092-591-3078
ダイヤモンド機工(株)	〒814-0143 福岡県福岡市城南区南片江2-30-21	092-801-0011	092-863-5707
(株)リュウキ	〒807-0852 福岡県北九州市八幡西区永犬丸西町4-20-28	093-601-6777	093-601-6888
(株)旭工業	〒885-0004 宮崎県都城市都北町1715-2	0986-36-6650	0986-36-6651
(株)西部システム	〒899-4346 鹿児島県霧島市国分府中町26-33	0995-46-9015	0995-46-9016

会社名	所在地	電話番号	FAX番号
旭ダイヤモンド工業(株)	〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町4-1-11F	03-3222-9299	03-3222-6530
エービーイーダイヤモンド(株)	〒358-0014 埼玉県入間市宮寺2596-7	042-934-3110	042-934-3169
(株)クライム	〒146-0081 東京都大田区仲池上1-29-3	03-3753-2014	03-3753-3339
サンゴバン(株)アブレイシブ事業部	〒102-0083 東京都千代田区麹町3-7	03-6272-6585	03-3221-9976
(株)シブヤ	〒738-0021 広島県廿日市市材木港北3-86	0829-34-4507	0829-34-4508
(株)DAS	〒140-0004 東京都品川区南品川2-2-15-4F	03-5461-7501	03-5461-7525
仲山鉄工(株)	〒426-0055 静岡県藤枝市大西町3-14-1	054-635-1383	054-635-0418
日本ダイヤモンド(株)	〒224-0054 神奈川県横浜市都筑区佐江戸町686-1	045-939-3000	045-939-3009
日本ヒルティ(株)	〒224-0037 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南2-6-20	0120-66-1159	0120-23-2953
ノリタケマシントクノ(株)	〒202-0014 東京都西東京市富士町2-13-17	042-461-5175	042-461-6310
ハスクバーナ・ゼノア(株)	〒350-1165 埼玉県川越市南台1-9	0570-66-6778	0120-365-295
ピースダイヤモンド工業(株)	〒224-0026 神奈川県横浜市都筑区南山田町4145-2	045-593-1271	045-892-2494
理研ダイヤモンド工業(株)	〒116-0002 東京都荒川区荒川1-53-2	03-3805-3471	03-3805-2434